

農業生産工程管理推進事業のうち農産GAP拡大推進加速化事業
 (日本発GAP認証の国際化推進事業) に関する事業評価票

事業実施主体名	一般財団法人 日本 GAP 協会
事業の概要	<p>平成 29 年 11 月末に GFSI に承認申請を行った ASIAGAP について、平成 30 年内にその承認を得るべく、GFSI 事務局へ提出する追加書類の作成、提出、説明等を行うとともに、GFSI が主催する国際会議に出席し、GFSI 関係者の理解の促進に向けた取組を進める。さらに GFSI の Bench Marking Requirements が 3 月初旬に Ver.7.2 (以下「BRV7.2」という) に改定されており、基準書の改定を行う。</p> <p>また、ASIAGAP の国際規格化の推進及び国内外への普及拡大を図るため、GFSI 承認を取得している GAP スキームオーナー等の調査を行うとともに、国内及びアジア地域での普及活動を実施する。</p>
成果目標の具体的内容	<p>①2018 年中に ASIAGAP の GFSI 承認を取得する。 ②ASIAGAP が GFSI 承認を受けた状態を当該承認日から 3 年以上維持する。 ③ASIAGAP 認証農場数を 2018 年 3 月末の認証農場数から拡大する。</p>
成果目標の達成状況	<p>①平成 30 年(2018 年)10 月 31 日に GFSI の承認を取得した。 ②令和 4 年(2022 年)1 月 6 日には改定された BMR Ver2021.1 に基づく GFSI の再承認を取得し、令和 4 年 7 月現在において、当該承認を維持している。 ③ASIAGAP 認証農場数は、次のとおり拡大している。 2018 年 3 月末 1,416 農場 → 2022 年 3 月末 2,253 農場</p>
総合評価	<p>A : 計画以上の成果が見られる B : 計画どおりの成果が見られる C : 計画どおりの成果が見られない</p>
総合所見	<p>ASIAGAP の GFSI 承認を取得したこと等から、ASIAGAP の認証農場数は大きく増加しており、事業実施の効果は大きいと評価できる。</p>